

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-2022		
目 的	衣服のみならず「トータルファッション」を標榜する上田安子服飾専門学校にあって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門課程	ファッション工芸デザイン学科シューズコース	2年	1820単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	300単位時間 (又は単位)	380単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1140単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数	58人	3人	13人	16人	

学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■2学期：前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表 (有無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日 	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 (有無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有無)
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業 ■就職率 92% 	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 シューフィッター検定 等

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4 名 ■中退率 7.3 % 平成 24年 5月 1日在学者 55 名(平成 25 年4 月入学者を含む) 平成 25年3 月 31日在学者 49 名(平成 25 年3 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 欠席による学業不振や経済的理由 ■中退防止のための取組 担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ucf.jp/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00~12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータ演習	コンピュータを使用してデザイン企画書を作成する	日本タンナーズ協会等
商品企画	ニーズに基づきデザインから商品企画し、提案する	PVC維新の会等

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション工芸デザイン学科シューズコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションデザイン&プランニングⅠ	ファッションの基礎知識を学び、マーケティングの基本原則に沿って企画を立案する	1通	60		△	○	
○			ファッションデザイン&プランニングⅡ	ファッション雑貨プラン度の企画書を制作し、提案する。	2通	60			○	
○			ベーシック	色彩理論の実践的活用を目的とした演習を絵の具を使い行う。立体折り紙の演習とそれを活用したTシャツプリント制作。	1通	60				○
○			メイキングテクニックⅠ	エプロン・ブラウス・スカートなどを実物製作する。	1通	120				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	イメージマップやデザイン画などを作成する。	1通	60				○
○			コンピュータ演習Ⅱ	業界のニーズに対応した商品のプレゼンテーション技法を学ぶ。	2通	60				○
○			染色	アナログ的な手作りを基本とした制作実習。ローケツ染め、絞り染め、ステンシル。手描き友禅、マーブリングなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得する。	1後	28				○
○			クラフト(手芸)	刺繍の基礎技術を修得する。基礎ステッチ(ドロンワーク・ミラーワーク・ハーダンガ刺繍・クロスステッチ・テープ刺繍)	1前	32				○
○			シューズ実習Ⅰ	靴における基本の6デザインのパターン展開、縫製、底付けを行ないトータルでの靴の基礎知識と製作技術を習得する。	1通	480		△		○

○			シューズ実習Ⅱ	イタリア・ミラノのアルスストリア国際製靴技術学校パターン製法（システムナティール）、ドイツのマイスター式オーダーラスト（単個靴型）設計法を修得する。	2 前	240		△		○
○			シューズ実習Ⅲ	イタリア・ミラノのアルスストリア国際製靴技術学校パターン製法（システムナティール）、ドイツのマイスター式オーダーラスト（単個靴型）設計法を修得する。	2 後	240		△		○
○			ファッション雑貨製作	ファッション雑貨をいろいろな素材や技法でデザインし製作する。	2 通	60				○
○			商品企画	市場性に基づき、企業とのコラボレーション・新素材を研究し、商品化を目指し制作を行う。	2 通	180				○
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2	20			○	
○			研究発表演習Ⅰ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				○
○			研究発表演習Ⅱ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				○
合計					16	科目	1820単位時間			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
目 的	衣服のみならず「トータルファッション」を標榜する上田安子服飾専門学校にあって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾・家政専門	ファッション工芸デザイン 学科バグコース	2年	1820単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	300単位時間 (又は単位)	380単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1140単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数	58人	3人	13人	16人	

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人面談など	課外活動	■課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業 ■就職率 92%	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 パターンメイキング検定 等

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4 名 ■中退率 7.3 % 平成 24年 5月 1日在学者 55 名(平成 25 年4 月入学者を含む) 平成 25年3 月 31日在学者 49 名(平成 25 年3 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 欠席による学業不振や経済的理由 ■中退防止のための取組 担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ucf.jp/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00~12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータ演習	コンピュータを使用してデザイン企画書を作成する	日本タンナーズ協会等
商品企画	ニーズに基づきデザインから商品企画し、提案する	PVC維新の会等

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション工芸デザイン学科バグコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			ファッションデザイン&プランニングⅠ	ファッションの基礎知識を学び、マーケティングの基本原則に沿って企画を立案する	1 通	60		△	○	
○			ファッションデザイン&プランニングⅡ	ファッション雑貨プラン度の企画書を制作し、提案する。	2 通	60			○	
○			ベーシック	色彩理論の実践的活用を目的とした演習を絵の具を使い行う。立体折り紙の演習とそれを活用したTシャツプリント制作。	1 通	60				○
○			メイキングテクニックⅠ	エプロン・ブラウス・スカートなどを実物製作する。	1 通	120				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	イメージマップやデザイン画などを作成する。	1 通	60				○
○			染色Ⅰ	アナログ的な手作りを基本とした制作実習。ローケツ染め、絞り染め、ステンシル。手描き友禅、マーブリングなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得する。	1 後	60				○
○			クラフト(手芸)	刺繍の基礎技術を修得する。 基礎ステッチ(ドロンワーク・ミラーワーク・ハーダング刺繍・クロスステッチ・テープ刺繍)	1 前	32				○
○			帽子制作Ⅰ	フェルト素材帽体、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマの帽体)をつかって基本的な型の帽子を制作する。	1 前	60		△		○
	○		帽子制作Ⅱ	Ⅰで習得した技術を基礎として、更に新しいデザインと種類の制作。	1 後	60		△		○

○		アクセサリⅠ	各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術を習得する。貴金属アクセサリや革小物等 実物作品を制作する。	1 後	60		△		○
	○	アクセサリⅢ	様々なマテリアルを触り各アイテムによる制作行程の理解やデザイン展開をする。	2 前	60		△		○
○		ベーシックニット	手編み棒針、鉤針を使って基礎技術を習得する。	1 前	28				○
○		バッグ制作Ⅰ	バッグの基本的な制作方法である、落とし込みと縫い返しの制作を体験し、基本的な道具の使用方法や、基礎的な制作方法を理解する。	1 前	180		△		○
○		バッグ制作Ⅱ	ハンドバッグの基礎的な制作方法の一通りを理解し、身に付ける。	2 通	480		△		○
○		バッグ制作Ⅲ	革を扱うことを主にして、より専門的な技術の習得する。ハンドバッグの制作技術に特化し、実際にバッグを制作していきながら、細かい技術や制作方法を身に付ける。	1 後	60		△		○
○		ファッション雑貨製作	ファッション雑貨をいろいろな素材や技法でデザインし製作する。	2 通	60				○
○		商品企画	市場性に基づき、企業とのコラボレーション・新素材を研究し、商品化を目指し制作を行う。	2 通	180				○
○		特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1 ・ 2	20		○		
○		研究発表演習Ⅰ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				○
○		研究発表演習Ⅱ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				○
合計				24	科目	1820単位時間			

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
上田安子服飾専門 学校	昭和51年4月1日	三原 道子	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人上田学園	昭和57年3月31日	上田哲也	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目5-8 (電話) 06-6371-1661		
目 的	衣服のみならず「トータルファッション」を標榜する上田安子服飾専門学校にあって、日本の優れた物づくりに貢献できる、専門人材を育成することに加え、「高品位なファッション商品をどのようにして販売するか」までを一貫して考えることのできる高度人材の育成。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
ファッション専門	ファッション工芸デザイン 学科ファッション雑貨コー ス	2年	1820単位時間 (又は単位)	○	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	300単位時間 (又は単位)	380単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1140単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数	58人	3人	13人	16人	

学期制度	■2学期： 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 試験・提出課題・授業態度を評価
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月7日 ■学 年 末：3月20日～4月7日	卒業・進級条件	規定の出席日数を満たし規定の 課題を提出し、試験に合格する
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセリングや上級教員による個人 面談など	課外活動	■課外活動の種類 リクレーションや地域ボランティア ■サークル活動 (有・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 アパレル、服飾雑貨等の製造や小売業 ■就職率 92 %	主な資格・検定	ファッションビジネス検定 パターンメイキング検定 等

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4 名 ■中退率 7.3 % 平成 24年 5月 1日在学者 55 名(平成 25 年4 月入学者を含む) 平成 25年3 月 31日在学者 49 名(平成 25 年3 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 欠席による学業不振や経済的理由 ■中退防止のための取組 担当教員による補習や上級教員による個人面談など</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ucf.jp/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成にあたっては、学生の就業先の業界に必要な人材の専門性についての動向や国、地方自治体の産業振興の方向性及び新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技能などを十分に把握・分析した上で、企業等の要請を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するため、企業等と連携した教育課程を編成する。

とくに学習課題の内容と評価体制について企業等と密接に連携することによって学生の専門性を高め、当該学科の育成する人材の目標や科目の教育目標達成に資するよう育課程の編成に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月20日現在

名 前	所 属
大塚 陽子	東京ファッションデザイナー協議会議長
富澤 修身	大阪市立大学大学院 教授
西川 典男	丸十服装株式会社 会長
瀧 直人	瀧定大阪株式会社 取締役
春木屋 慶輔	株式会社イッセイミヤケ 社長室長
広瀬 篤彦	クロバー株式会社 営業本部本部長

(開催日時)

第1回 平成25年11月20日 10:00~12:00

第2回 平成26年2月13日 17:00~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した実習・演習授業の内容が当該学科の教育目標達成に資するものとなるように学習課題の内容を精査し、科目間の連携や授業時間配分等を考慮しつつ実習・演習授業を構成する。

また実習で制作した学習成果物等の評価にあたっては、学生の専門性を高めるべく連携する企業等と密接に連携することで評価の指標を共有しながらすすめる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータ演習	コンピュータを使用してデザイン企画書を作成する	日本タンナーズ協会等
商品企画	ニーズに基づきデザインから商品企画し、提案する	PVC維新の会等

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校においては平成24年度7月に「上田安子服飾専門学校教員の研修について」の基本方針を定め、専門教育を充実するため教員の資質の向上を目的として計画的に教員の研修等を行うこととしている。研修等実施にあたっては企業等との連携を深めるため、講師を企業等から当校に招請しておこない、また、教員を企業等の開催する研修等に参加させることを基本としている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成25年11月28日現在

名 前	所 属
小林 清	ファッションビジネス学科ビジネスマスターズコース学生保護者
赤木 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン
荒木 観嗣	株式会社 absolute
大石 勝	大阪市立泉尾工業高校
三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
池田 知隆	元大阪市教育委員長
三原 道子	上田安子服飾専門学校

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ucf.jp/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション工芸デザイン学科シューズコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションデザイン&プランニングⅠ	ファッションの基礎知識を学び、マーケティングの基本原理に沿って企画を立案する	1通	60		△	○	
○			ファッションデザイン&プランニングⅡ	ファッション雑貨プラン度の企画書を制作し、提案する。	2通	60			○	
○			ベーシック	色彩理論の実践的活用を目的とした演習を絵の具を使い行う。立体折り紙の演習とそれを活用したTシャツプリント制作。	1通	60				○
○			メイキングテクニックⅠ	エプロン・ブラウス・スカートなどを実物製作する。	1通	120				○
○			コンピュータ演習Ⅰ	イメージマップやデザイン画などを作成する。	1通	60				○
○			染色Ⅰ	アナログ的な手作りを基本とした制作実習。ローケツ染め、絞り染め、ステンシル。手描き友禅、マーブリングなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得する。	1後	60				○
○			クラフト(手芸)	刺繍の基礎技術を修得する。 基礎ステッチ(ドロンワーク・ミラーワーク・ハーダング刺繍・クロスステッチ・テープ刺繍)	1前	32				○
○			帽子制作Ⅰ	フェルト素材帽体、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマの帽体)をつかって基本的な型の帽子を制作する。	1前	60		△		○
	○		帽子制作Ⅱ	Ⅰで習得した技術を基礎として、更に新しいデザインと種類の制作。	1後	60		△		○

	○		帽子制作Ⅲ	革、夏帽体、夏ブレード、フェルト、冬ブレード、羽根、毛皮などを使用し、変化のあるオリジナルなデザインの帽子を制作する。高度な技術によるファンタジックな造花を制作する	2 前	120		△		○
	○		帽子制作Ⅳ	フェルトその他の材料を用い、木型により熱加工の高度な技術を学び、帽子のオリジナル作品を制作する。 造花制作に関する高度な応用技術を学び、オリジナル作品を制作する。	2 後	120		△		○
○			アクセサリⅠ	各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術を習得する。貴金属アクセサリや革小物等 実物作品を制作する。	1 後	60		△		○
	○		アクセサリⅡ	貴金属アクセサリや革小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。	1 後	60		△		○
	○		アクセサリⅢ	様々なマテリアルを触り各アイテムによる制作行程の理解やデザイン展開をする。	2 前	60		△		○
	○		アクセサリⅣ	アクセサリや革小物等 幅広い実物作品を制作する。	2 後	60		△		○
○			ベーシックニット	手編み棒針、鉤針を使って基礎技術を習得する。	2 前	28				○
○			バッグ制作Ⅰ	バッグの基本的な制作方法である、落とし込みと縫い返しの制作を体験し、基本的な道具の使用方法や、基礎的な制作方法を理解する。	2 前	180		△		○
○			ファッション雑貨製作	ファッション雑貨をいろいろな素材や技法でデザインし製作する。	2 通	60				○
○			商品企画	市場性に基づき、企業とのコラボレーション・新素材を研究し、商品化を目指し制作を行う。	2 通	180				○
○			特別講義	社会に出て行くに必要な知識や心構えを養成するための講義。	1・2	20		○		
○			研究発表演習Ⅰ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60				○

○		研究発表演習Ⅱ	プレタポルテ展、ファッション・アート展、上田学園コレクション等で学習の成果を発表する。	1 通	60			○	
合計			24 科目	1820単位時間					